R2年~4年市町村別主要死因別標準化死亡比(SMR)

悪性新生物

					1						
1 .	男				区 分		女				区 分
	死亡数	SMR	上限	下限			死亡数	SMR	上限	下限	
宮崎市	1,922	94.6	98.9	90.4	1	低い(有意)	1,499	101.4	106.7	96.3	3 高い(有意ではない)
都城市	928	104.4	111.4	97.9	3	高い(有意ではない)	654	96.6	104.4	89.4	2 低い(有意ではない)
延岡市	777	109.7	117.8	102.2	4	高い(有意)	563	103.9	113.0	95.6	3 高い(有意ではない)
日南市	345	99.7	110.9	89.6	2	低い(有意ではない)	294	114.0	128.0	101.5	4 高い(有意)
小林市	286	98.3	110.6	87.4	2	低い(有意ではない)	203	92.8	106.7	80.7	2 低い(有意ではない)
日向市	359	104.0	115.5	93.7	3	高い(有意ではない)	243	96.1	109.2	84.6	2 低い(有意ではない)
串間市	145	112.7	133.0	95.4	3	高い(有意ではない)	94	95.4	117.3	77.5	2 低い(有意ではない)
西都市	199	100.9	116.3	87.6	3	高い(有意ではない)	130	91.9	109.5	77.1	2 低い(有意ではない)
えびの市	138	104.4	123.7	88.0	3	高い(有意ではない)	111	116.2	140.5	96.0	3 高い(有意ではない)
三 股 町	122	95.3	114.2	79.4	2	低い(有意ではない)	90	92.4	114.1	74.7	2 低い(有意ではない)
高原町	63	93.6	120.6	72.5	2	低い(有意ではない)	51	108.9	144.3	81.9	3 高い(有意ではない)
国富町	112	91.8	110.9	75.9	2	低い(有意ではない)	84	94.6	117.8	75.9	2 低い(有意ではない)
綾 町	50	107.7	143.2	80.8	3	高い(有意ではない)	30	93.8	135.8	64.4	2 低い(有意ではない)
高 鍋 町	114	101.2	122.0	83.9	3	高い(有意ではない)	74	90.6	114.4	71.6	2 低い(有意ではない)
新富町	114	118.9	143.3	98.5	3	高い(有意ではない)	59	89.9	116.8	69.0	2 低い(有意ではない)
西米良村	8	103.7	213.2	48.2	3	高い(有意ではない)	6	104.5	239.8	42.5	3 高い(有意ではない)
木城町	32	99.0	141.5	68.8	2	低い(有意ではない)	27	114.3	168.8	76.8	3 高い(有意ではない)
川南町	101	104.0	126.9	85.1	3	高い(有意ではない)	78	113.2	142.0	90.0	3 高い(有意ではない)
都農町	69	102.0	129.9	80.0	3	高い(有意ではない)	51	107.5	142.5	80.9	3 高い(有意ではない)
門川町	107	104.2	126.5	85.8	3	高い(有意ではない)	61	81.2	105.1	62.7	2 低い(有意ではない)
諸塚村	12	89.4	161.1	48.5	2	低い(有意ではない)	4	43.3	119.0	13.9	2 低い(有意ではない)
椎葉村	13	56.2	98.8	31.2	1	低い(有意)	9	61.2	120.8	29.9	2 低い(有意ではない)
美 郷 町	42	89.2	121.8	65.I	2	低い(有意ではない)	33	103.8	147.6	72.6	3 高い(有意ではない)
高千穂町	77	82.5	103.7	65.5	2	低い(有意ではない)	79	120.4	150.9	95.9	3 高い(有意ではない)
日之影町	27	88.5	130.8	59.5	2	低い(有意ではない)	18	83.6	135.0	51.1	2 低い(有意ではない)
五ヶ瀬町	23	81.0	123.7	52.6	2	低い(有意ではない)	13	66.7	117.3	37.1	2 低い(有意ではない)

^{*}宮崎県健康づくり推進センター「データブック」男女別年齢階級別人口(市町村別)、主要死因死亡数・率・割合(市町村別)のR2・R3・R4のデータを基に算出。 *標準化死亡比=当該市町村の死亡数/(当該市町村の年齢階級別人口×宮崎県の年齢階級別死亡率)の総和×100(今回から単年度算出方法と合わせ、結果を見やすくするために100かけている。)

^{*}全年齢の死亡数が「O」の場合、標準化死亡比を「-」と記載。年齢階級は、5歳刻みで下限O歳、上限95歳一括とした。(「H27~H29」のデータまでは、上限85歳一括で算定)



